

主の降誕(夜半)の説教

金 大烈 神父 2008年12月24日(水)

《救い主の誕生そして十字架上の死》

皆様、メリークリスマス。クリスマスおめでとうございます。

何故私達は、喜びのうちに皆集まって、お互いに「おめでとう」、「おめでとう」と祝うのでしょうか。皆様の中には今日、年中行事として来られた方もいるかも知れません。日本国中で騒がれている様な一種のお祭りに参加する様な気持ちで、このミサに与った方がいるかも知れません。そして殆どの皆様は何かを頂きたい、何かを悟られて頂きたいという思いで来られたのでしょうか。とにかく私達は色々な思いで、お互いに「おめでとう」と祝っているのです。本当は何故なのでしょう。クリスマスの本当の意味を考えながら、このクリスマスが私達にどのような意味を与えてくれるのかを悟って欲しいと思います。

さあ、祭壇の前に《裸の赤ちゃん》が飼い葉桶では無いですが、その様なものの中に、布に包まれて寝かされています。その右の方にある、灯されたるろうそくは"羊飼いだ"を導いた"星"を意味していると私は思います。そしてその上には《祭壇》があって2本のろうそくとミサの本が置いてあります。その後ろには何が見えますか。全く変わらぬ姿で、裸で恥を持って『私が一番愛しているものです』という人々の前に、《十字架》につけられた姿を見せしているイエス・キリストがいます。十字架と何の関係があるのでしょうか。

何故、今日私達が喜ばなければならないのでしょうか。その答えがこの《3つの関係》の中にあります。色々な人々が現れて、「これが真の生き方だ」と言いながら死にました。そして2000年前、ベツレヘムという所に救い主が"赤ちゃん"の姿でこの世に現れました。そしてその方が見せて下さったのは、その方が亡くなってから、暫くしてから聖書に表された生き方です。その生き方の結果が皆さんの前で一番目立つ"十字架"の姿です。そしてそれが終わりではなく、私達はあの方が復活された事を2000年間堅く信じているのです。その復活を堅く信じていなければ、私達は厳密な意味としては信者ではありません。

裸の幼い乳飲み子の赤ちゃん、その赤ちゃんの前に広がる人生がどのようなものか私達はよく知っています。メリークリスマスと祝い、喜びであるクリスマスの日に、私達がその"誕生"と共に考えなければならない事は"十字架"です。私達が「おめでとう」と喜ばなければならない、喜び合わなければならないその理由は、イエス様ご自身が自ら見せて下さったその人生が、私達の心に訴え、私達の心を打ったからです。そしてその人生の故に、私達は色々な不安があっても、乗り越えなければならない事があっても、あなたに従いたいと告白します。その日が今日だからです。

皆様の信仰を振り返ってみましょう。もう随分前に洗礼を受けられた方もいるでしょう。そして今日、あと5分、10分したら洗礼を受けられる4人の方もいらっしゃいます。今日の福音の最後に天使によって歌われた言葉『地には平和、御心に叶う人々にあれ』。御心とはイエス様が見せて下さった御心。その御心に忠実に生きて行ければその人は平和そのものです。

私達は今日の事、裸になってこの世に対する愛情を表さなければならなかったイエス様の御心、そのイエス様を産んだマリア様、そして洗礼。その全てを自分の人生にあてはめて考えてみましょう。それが、真の意味を、真のクリスマスの意味を語る事になると思います。私達は「イエス様、あなたに従います」と決断した時から、「あなたの素晴らしい死のあり方を見たいのです」という心をいつも持たなければなりません。

皆様、今日の事を忘れないで下さい。祭りではありません。年中行事では絶対にありません。今日誕生日なのに、今日もイエス様は私達の為に死んで下さるのです。

皆様ご存じの様にこの頃とても不景気です。いつクビになるかと恐れ震えている人も多いです。その人々を見て皆様はどんな気持ちになるでしょうか。もし私達がキリストの誕生を祝う気持ちになれば、その人々にも伝えなければならない事だと思います。

ここには、本当に久しぶりに教会に来られた方もいるでしょう。そしてミサに永い間与らなかった方もいると思います。心を込めて歓迎致します。しかし私達の為に毎日殺される、毎日十字架につけられるイエス様の事を考えながら、ご聖体を頂く為に "相応しい準備" が出来ているか、それをまず考えてみてはどうでしょうか。

皆様、目を閉じ、心を静かにし振り返ってみましょう。もし今日までの間にゆるしの秘蹟に与れなかった人は、心の中で告白して下さい。

そして償いとして、これから、今日から信者として、信者に相応しい生き方をしようと努めて下さい。それが来年までの償いになると思います。

本当におめでとうございます。ありがとうございました。